報道発表資料

2026 年 11 月 17 日
アステリア株式会社
フリーダム株式会社

Osaka Metro のデータ連携基盤をフリーダムが ASTERIA Warp で構築
人事給与システムを刷新し、AI 活用や情報分析でデータ活用を高度化
～ 業務データの整理・統合・運用自動化等で、年間約 3,700 時間の工数削減 ～

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下 アステリア）とフリーダム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：古谷治郎、以下 フリーダム）は、大阪市高速電気軌道株式会社（本社：大阪市西区、代表取締役社長：角元敬治、以下 Osaka Metro）の人事給与システム刷新に伴うデータ連携基盤に「ASTERIA Warp（アステリア ワープ、以下 Warp）」が採用され、2026 年 8 月に本格稼働が開始されたことをお知らせします。

■人事給与システム刷新の背景

Osaka Metro では、中期経営計画において「交通を核にした生活まちづくり企業への変革」を掲げ、その実現に向けた経営基盤高度化を進めています。

こうした中、同社では基幹システムを中心に、経営判断に資するデータを横断的に収集・活用できる環境整備を段階的に推進してきました。その過程で、ガバナンス強化や業務運用の安定化を見据え、基幹システムと周辺業務システムを接続するデータ連携基盤として「Warp」が採用されました。これにより、システム間データ連携の整理と運用基盤の安定化に取り組んでいます。

このように既存基盤の整備が進む中、人事給与システム刷新プロジェクトが新たに始動。今回のプロジェクトでは、基幹システムとの確実な連携に加え、既存システムから新システムへの段階的な移行を安定的に進める必要がありました。そのため、基盤整備から業務設計・全体アーキテクチャ検討までを一貫して推進する体制が求められました。

そこで、Warp を提供するアステリアと、ERP をはじめとする基幹・周辺システム連携において豊富な実績とノウハウを有し、複雑なシステム統合を一貫して担える Warp のパートナー企業フリーダムの 2 社が連携しました。フリーダムは、Warp を用いた既存のデータ連携基盤を活かし、人事給与システムの刷新と基幹システム連携を同一基盤上で設計・構築。これにより、個別最適な連携設計や移行作業を最小化し、既存資産を活用した安定的かつ段階的な刷新を実現しています。

システム連携イメージ図



■「人事給与システム刷新プロジェクト」で Warp を活用した主な効果

- ●人事給与システムと基幹システムのデータ連携基盤を構築し、100 本を超える連携処理の自動化と安定運用を実現
- ●アダプター活用と連携処理の標準化により、スクラッチ開発と比べて開発リードタイムの大幅な短縮
- ●業務データの整理・統合や可視化、運用自動化により、目視確認等の作業を解消し、年間約 3,700 時間の作業・管理工数を削減見込み
- ●画面上で処理を可視化することにより開発・運用の属人化を解消し、将来の AI 活用やデータ分析の高度化に対応する拡張性の高いシステム構造を整備

■エンドースメント

会計システムの刷新に伴って、運賃などの収入関連情報や組織の権限、ユーザーマスターなどのデータを業務システムとやり取りする標準データ連携基盤として「ASTERIA Warp」を採用しました。信頼性の高い運用が可能となり、特に連携処理の可視化によって開発の属人性や人手による運用負荷、ミスの発生といった課題を解消できました。今後はポイント管理システムとの会計連携など、新たな業務領域への適用も進め、全社的なバックオフィスの業務効率化とモダナイゼーションを加速させていきたいと考えています。

Osaka Metro　人事部 AX 推進課 課長　浦野 敦雄 氏
係員　藤林 日菜 氏

■今後の展開

本プロジェクトでは、人事給与システムの刷新と基幹システム連携基盤の開発を並行しながら、データ品質の向上と安定運用を実現するシステム構築を推進しています。

アステリアとフリーダムの両社は、Warp を中核としたデータ連携基盤を活用した業務システム全体の可視化やさらなる効率化、およびデータクレンジングやガバナンス整備に向けた取り組みを段階的に推進しています。これにより、人事・会計などの各種業務データを統合・蓄積し、データ分析や AI 活用を推進することで、経営判断に資するデータ活用の高度化に貢献してまいります。

＜事例掲載 URL ＞https://www.asteria.com/jp/warp/case/w_osakametro/

■「大阪市高速電気軌道株式会社（Osaka Metro）」について（Web サイト https://www.osakametro.co.jp/ ）

Osaka Metro は、大阪市内を中心に地下鉄・ニュートラムを 9 路線 134 駅運営するほか、バスやタクシーなどの事業も展開する交通事業者です。安全・安心な交通サービスの提供を基盤に、駅ナカ・地下街をはじめとした事業開発や、マンション・商業施設等の都市開発事業を展開し、「交通を核にした生活まちづくり企業」への変革を進めています。

2024 年の会計システム刷新を機に、従来のスクラッチ開発と手作業に頼ってきたシステム間連携のあり方を見直し、会計・人事給与などの基幹システムと、各種業務システムとの連携を担う標準基盤として「ASTERIA Warp」を採用しました。その結果、運用工数の大幅な削減をはじめ、ジョブ管理の一元化や、システム開発・運用の属人性が解消され、保守性が向上するなど、様々な成果がもたらされています。

■「アステリア株式会社」について（Web サイト https://jp.asteria.com/ ）

アステリアは社会や企業を「つなぐ」エキスパートとして「ソフトウェアで世界をつなぐ」をコンセプトに、ヒト、モノ、オモイを「つなぐ」製品やサービスを提供するソフトウェア開発企業です。基幹製品のデータ連携ツール「ASTERIA Warp」は、様々なシステムやサービスをノーコードでつなぐ製品として、1 万社を超える企業が導入しています。また、デジタルコンテンツプラットフォーム「Handbook X」は資料や動画、Web サイトなどの多様な情報の共有、現場向け業務アプリプラットフ

ォーム「Platio」はノーコードで自社の業務に合ったモバイルアプリを作成・活用することが可能です。

さらに、AI/IoT プラットフォーム「Gravio」は現場データの収集・統合・活用までをワンストップで実現しフィジカル AI 領域にも展開。AI ネイティブ業務プラットフォーム「Platio Canvas AI」「Bakusoku.AI」、企業向け JPYC 入出金管理サービス「JPYC Gateway」、ロボットアプリケーション向け継続的シミュレーションプラットフォーム「Artefacts」など、自律・分散・協調時代に貢献するソフトウェア等の提供を通じて、DX や業務の効率化を推進しています。また、ブロックチェーン推進協会、ノーコード推進協会などの設立に参画するなど、様々なイノベーションを推進し新しいテクノロジーや価値観を普及啓発する活動にも取り組んでいます。

■「フリーダム株式会社」について（Web サイト https://fr.inc/ja/ ）

経営戦略と組織変革に特化したコンサルティングで、高成長企業の複雑な課題解決に取り組んでいます。IT 戦略とシステムインテグレーションを駆使して経営戦略を具現化し、効率化とコスト削減を実現。これらの戦略的アプローチにより、クライアントの持続可能な成長と経営基盤の強化を促進します。

■「ASTERIA Warp」について（Web サイト https://www.asteria.com/jp/warp/ ）

EAI/ESB 製品の国内市場において 20 年連続シェア No.1 製品である「ASTERIA Warp」は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノーコードで連携できるミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。Warp Core は、Warp の厳選された機能を初期費用 0 円、月額 30,000 円からのサブスクリプション形式で「手軽」にご利用いただけます。様々なシステムやサービスと迅速に連携することで業務自動化やデータ活用を実現します。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社　広報・IR 部：齋藤ひとみ・小出朱莉
TEL：03-5718-1297 ／ 携帯電話：080-2158-2167（小出） ／ E-mail：press@asteria.com

フリーダム株式会社
TEL：03-4577-0718 ／ E-mail：info@fr.inc

【製品に関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社　マーケティング本部
TEL：03-5718-1250 ／ E-mail：pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook、Platio、Gravio はアステリア株式会社の登録商標です。
本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。